

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
書道 I	国際交流科	1	2	新編 書道 I (教育出版)	-

科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術を愛し、創造的に表現するための能力を育てる。 ・古典を理解し、漢字・仮名・漢字仮名交じりの書の基本的表現力を育てる。
---------	--

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	書的美を求めて 一 漢字の書の学習 1 楷書の学習	1 さあ、はじめよう ・用具用材の扱い方・姿勢執筆法 2 さあ、書こう ・基本的な筆使いの確認 ・書体の変遷・石碑、拓本	○姿勢・執筆や用具。用材について理解し、書の学習法を把握する。 ○書写と書道との関係や考え方の違いを理解し、これからの学習に意欲的に取り組む心構えを養う。
	5		1 ささまざまな楷書 2～4 古典臨書（4 課題）	○漢字五書体の歴史的な変遷について理解する。 ○楷書の古典の特徴を知り、臨書による表現方法を習得する。
	6	・倣書 ・うちわ製作 3 篆書の学習 4 篆刻・刻字の学習	◆伏木高校校訓による ◆楷書 1 字による ・篆書（小篆）の特徴 1～6 篆刻の製作（草稿・彫り・押印）	○校訓を題材として楷書の倣書をし、古典の特徴をさらに深め、うちわ製作を通して、表現の構想から完成に至る過程を工夫し、主体的に自己実現を図る。 ○篆書体の基本的な筆使いを知る。 ○完成までの手順と技法を習得する。
	7			
二	9	4 のつづき 2 行書の学習	1～6 篆刻の製作（彫り・押印など） 1 ささまざまな行書 2～5 古典臨書（3 種類）	○篆刻の歴史を知り鑑賞することにより、その良さや美しさを感じ、自分の製作する印に工夫を加える。 ○行書の古典の特徴を知り、臨書による表現方法を習得する。
	10	5 隷書の学習 二 仮名の書の学習	1～2 隷書の臨書 1 仮名の成立と発達 2 仮名の種類 3 基本的な筆使い 4 平仮名 5 変体仮名 6 連綿 7 蓬莱切の鑑賞と臨書	○曹全碑を臨書することにより、隷書の特徴を理解し、用筆・運筆、結構法を習得して表現力を高める。 ○仮名の成立過程、および仮名の種類について理解する。
	11			○仮名の基本的な線質と、用筆・運筆との関係を理解する。 ○仮名の基本的な筆使いの技法を身につける。 ○名筆をとおして日本の伝統的な書的美を感得する。
	12			
三	1	・書初め 三 漢字仮名交じりの書の学習	◆県書研による 3 種類の手本より選択し製作する。 1～6 漢字仮名交じりの書の製作	○書初めの製作により、日本の伝統文化に関心を持ち、理解する。 ○漢字と仮名の調和の重要性を確認し、明確な製作意図を持って、主体的・意欲的に表現を行なう。 ○文字の大きさ、字形、配置、書体などを工夫し、表現する。 ○製作者の意図を酌み取り、感じたことを言葉で表現する。
	2		7 漢字仮名交じりの書の鑑賞	
	3			

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	芸術的な感受性や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
	芸術を愛好し、芸術文化を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。	芸術のよさや美しさを感じ取り創造的に表現を工夫する。	創造的な芸術表現をするために必要な技能を身に付けている。	芸術を幅広く理解し、そのよさや美しさを味わう。
◎評価の方法				
毎回提出される課題作品を10段階で評価し、その他の提出物、学習態度、出席状況等を考慮して、総合的に評価する。				